

## 地方創生関連交付金事業の効果検証について

明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たり、一部の事業について、国及び県から交付金を受けて実施しています。

これらの交付金事業は外部有識者等を交えて効果検証を行うこととされており、あかしSDGs推進審議会委員の学識経験者に意見をお聞きした上で、事業の評価を行います。

### 1 交付金事業の概要

#### (1) 国の交付金

##### ○地方創生拠点整備交付金の概要

① 目的	地方版総合戦略に基づき、地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な事業と一体となって整備される施設について、国から交付金を直接交付し、地方の事情を尊重しながら、施設整備等の取組を進める。
② 対象	地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業と一体となって整備される施設（ハード事業）
③ 負担率	国 1/2 市 1/2
④ 明石市の交付対象事業	2019年度：1事業、交付金額 86,644 千円 ・あさぎり・おおくら総合支援センター整備計画

#### (2) 県の交付金

##### ○ひょうご地域創生交付金の概要

① 目的	兵庫県が独自で、県地域創生戦略又は市町版地方創生戦略に基づく市町、地域住民・団体等の取組に対して支援する。
② 対象	ソフト及びハード事業
③ 負担率	中核市：県 1/3、市 2/3
④ 明石市の交付対象事業	2019年度：1事業、交付金額 51,765 千円 ・市制施行 100 周年記念事業

## 2 2019 年度実施の交付金事業の効果検証について

### (1) 国の交付金

交付金名	地方創生拠点整備交付金	
事業名	あさぎり・おおくら総合支援センター整備計画	
主管課	福祉局地域共生社会室	
総合戦略での位置付け	<p>基本目標3 まちの賑いを高める</p> <p>基本目標4 安全・安心な暮らしを実現する</p>	
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霧・大蔵中学校区は市内全体の高齢化率（R2.10.1：市内全体 25.6%、朝霧・大蔵中学校区 29.3%）を大きく上回っており、「自助」「共助」の力が弱まり、独居高齢者の地域との交流不足や子育ての孤独化、転入者の自治会加入率の低下が課題となっている。</li> <li>・そのため、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進め、転入、定住を促進するため、市内全体の高齢化率を上回り、老朽化したニュータウンの広がる朝霧・大蔵中学校区に、高齢者や障害者、こどもを含め総合的・包括的な相談対応、地域支援の拠点となる総合支援センターを整備する。</li> <li>・本事業を行うことで、「自助」そして「共助」を促進し、「自助・共助・公助」のバランスを適正にし、転入者や長年住んでいる住民、世代や障害の有無に関係なく、地域で交流し安心して住み続けられる持続可能な地域社会を実現する。</li> <li>・さらに、地域で活動する多様な主体と連携しながら、地域資源の開発、若年層の定着による人口構成の安定化や転出者抑制への取組により、定住人口の増加を図る。</li> </ul>	
事業内容 (2019 年度)	<p><b>あさぎり・おおくら総合支援センターの整備</b></p> <p>(1) 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①位置／明石市松が丘5丁目7番22号</li> <li>②敷地面積／約 3,300 m<sup>2</sup></li> <li>③階数／地上1階</li> <li>④延床面積／約 600 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>(2) 施設の主な機能</p> <p>施設が整備されることにより、来所者に配慮した相談環境の充実に加えて、新たに設ける交流・活動スペースを活用した住民主体の多様な支え合い体制の構築等、地域共生社会づくりの推進を図る。</p>	
機能内容	内容	
総合的・包括的支援機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務室／約 80 m<sup>2</sup>（センター職員 16 名）</li> <li>○相談室／約 10 m<sup>2</sup> × 2 部屋</li> </ul>	
地域住民の交流拠点機能	<p>地域ケア会議等を開催することにより、地域住民が参画し地域課題を検討するなど、地域づくりを推進するためのネットワークを構築する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研修室／約 100 m<sup>2</sup> × 3 部屋</li> </ul>	
市民活動等の拠点機能	<p>市民活動団体やボランティア団体が利用でき、また、その活動を支援できる拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議室／約 40 m<sup>2</sup></li> </ul>	
(3) 開所年月日	2020年4月1日（水）	

事業費	実績額 257,733 千円 うち交付金額 86,644 千円							
重要業績 評価指標 (KPI)	①施設利用人数【予約利用】（2023年度:4,750人） ②朝霧、大蔵中学校校区での住民主体による通いの場（自主グループ（体操）、 認知症カフェ、サロンなど）の数（2023年度:180箇所） ③あさぎり・おおくら総合支援センターの相談件数（2023年度:4,662件）							
実績値		参考 (2017)	1年目 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	結果
	KPI①	-	-					-
	KPI②	163箇所	-					-
	KPI③	4,262件	-					-
※あさぎり・おおくら総合支援センターは、2020年4月に開設されたことから、KPIについては、次年度以降の検証時に計上します。								
実績値の 増減理由	-							
事業効果	<b>【事業を実施した効果と課題】</b> ・あさぎり・おおくら総合支援センターを整備し、2020年4月に開設した。 ・誰もが安心して暮らせる地域づくりの拠点となるよう、ソフト面の取組を順次 充実させる。  <b>【今後の取り組み】</b> ・高齢者や障害者、子ども等に関する総合的・包括的な相談支援や住民主体の多 様な支え合い体制の構築に向けた取組を進めている。							
外部有識者 (あかしSDG s推進審議会委 員)の評価	1 事業評価（該当する番号に○） (1)基本目標3「まちの賑わいを高める」 ①本事業が、「まちの賑わいを高める」ために有効であった ②本事業が、「まちの賑わいを高める」ために有効とはいえなかった ③本事業が、「まちの賑わいを高める」ことへの効果の有無はまだわから ない (2)基本目標4「安全・安心な暮らしを実現する」 ①本事業が、「安全・安心な暮らしを実現する」ために有効であった ②本事業が、「安全・安心な暮らしを実現する」ために有効とはいえなかつ た ③本事業が、「安全・安心な暮らしを実現する」ことへの効果の有無はまだ わからない  2 意見 ・効果検証の対象となる2019年度の事業内容としては、施設整備が対象となっ ており、KPIで設定している利用状況等での検証は、2020年度以降となるため、							

	<p>現時点での検証は困難である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・なお、当該施設については、包括的相談支援機能に加え、交流拠点機能や市民活動拠点もあわせて整備されており、地域共生社会に資する施設となることが期待できる。</li></ul>
--	---

## (2) 県の交付金

事業名	市制施行 100 周年記念事業			
主管課	市制施行 100 周年記念事業推進室、シティセールス推進室シティセールス課、政策室本のまち担当、都市整備室海岸課、文化・スポーツ室文化振興課			
総合戦略での位置付け	基本目標 3 まちの賑わいを高める			
事業内容 (2019 年度)	<p>○B-1 グランプリ in 明石やあかし伝統夢まつりなどの市制施行 100 周年記念事業・明石城築城 400 周年記念イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B-1 グランプリ in 明石では、「さらにやさしい B-1 グランプリ for SDGs」をコンセプトに開催（11 月 23、24 日開催：来場者数 31 万 4 千人）</li> <li>・あかし伝統夢まつり（5 月 2 日開催：1869 年以來 150 年ぶりに明石城に市内の布団太鼓が集結）</li> <li>・ドリームベースボール（5 月 26 日開催：元プロ野球選手と明石市選抜チームとのドリームゲーム、ふれあい講演会など）</li> </ul> <p>○心豊かな人を育む「本」のまちづくりに向けた、市オリジナル資格「あかし保育絵本土（幼稚園教諭・保育士対象）」の認定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかし保育絵本土養成講座（基礎コース）の実施（認定者数：18 名）</li> <li>・あかし保育絵本土養成講座（応用コース）の実施（認定者数：15 名）</li> </ul> <p>○育児雑誌を活用して子育て世帯に向けた PR を実施し、インフルエンサーによる情報拡散を図った。</p> <p>○ビーチサッカー国際親善大会開催に向けた大蔵海岸の競技環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大蔵海岸の砂浜の整備（白砂 465 トン、海砂 1,275 トン）</li> <li>・国際親善大会の開催（9 月 27 日～29 日：スペイン、タヒチ）</li> </ul> <p>○明石の歴史発掘・普及に向けた地域史料調査、発掘された明石歴史展等開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市制施行 100 周年記念特別企画展「発掘された明石の至宝」（11 月 2 日～12 月 8 日：文化博物館）など</li> </ul>			
事業費	実績額：155,298 千円、うち交付金額 51,765 千円			
重要業績評価 指標（KPI）		計画値	実績値 (2020 年 3 月)	結果
	①観光客入込客数	590 万人	5,913,563 人	達成
	②本の貸出冊数	300 万冊	3,005,919 冊	達成
	③20 代 30 代の転入 超過数	1,000 人	910 人	未達成
	④文化芸術イベント の鑑賞人数	2 万 6 千人	25,010 人	未達成

<p style="text-align: center;"><b>事業効果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-1 グランプリ in 明石、あかし伝統夢まつりを始めとした市制施行 100 周年記念事業及び明石城築城 400 周年記念イベントの開催により、多数の来場者を迎えることができ、明石の魅力発信に繋げることができた。</li> <li>・ 心豊かな人が育まれるやさしいまちの実現に向け、また、絵本をツールに、就学前教育の一層の充実を図るため、あかし保育絵本土養成講座では応用コースを新たに設けるなど、幼少期から本に親しむ環境の整備を進めた。</li> <li>・ 子育て世代に向けた PR やシビックプライドを醸成する取り組みにより、移住・定住の促進が実現したと考えられ、目標値に近い実績が得られている。</li> <li>・ ビーチサッカー国際親善大会の開催に向け、大蔵海岸の砂浜にオーストラリア産の白砂や海砂を投入するなど環境整備を行い、大会の開催を実現した。</li> <li>・ 文化博物館で市制施行 100 周年記念事業として、選りすぐりの市内出土品を展示する企画展を開催するとともに、歴史資料の調査・収集を実施し、その成果を市民向け講座や報告書を通して公開した。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">外部有識者 (あかし SDGs 推進審議会委員) の評価</p>	<p>1 事業評価 (該当する番号に○)</p> <p>(1) 基本目標 3 「まちの賑わいを高める」</p> <p style="padding-left: 20px;">① 本事業が、「まちの賑わいを高める」ために有効であった</p> <p style="padding-left: 20px;">② 本事業が、「まちの賑わいを高める」ために有効とはいえなかった</p> <p>2 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要業績評価指標 (KPI) については、「①観光客入込客数」及び「②本の貸出冊数」の 2 項目で計画値を達成している。また、未達成となった「③20 代 30 代の転入」及び「文化芸術イベントの鑑賞人数」の 2 項目についても、年度末に新型コロナウイルスによる影響がある中で、計画値の 9 割を超える数値となっており、まちの賑わいを高める効果的な取組が実施されたと考えられる。</li> <li>・ メインイベントである B-1 グランプリ in 明石では、「さらにやさしい B-1 グランプリ for SDGs」をコンセプトに開催されており、今後のまちづくりの基軸とする SDGs に取り組む姿勢が市内外に効果的に発信されている。</li> </ul>